

事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

I. 施設の企画・運営・管理事業（指定管理事業）

静岡市女性会館の指定管理事業は、年間を通じて、総勢 19 人のスタッフが従事した。10 月には静岡市に大型台風の上陸が予想されたことから、指定管理事業を担って以来、初めて全館休館を実施した。また、年度の終盤は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、静岡市の方針に従って、主催事業を中止（次年度に延期）した。また、3 月は貸室の利用取消に応じたため、貸室利用者は減少したものの、指定管理事業への大きな影響はなかった。事業の詳細は「静岡市女性会館指定管理事業報告書」を参照。

1. 男女共同参画推進事業

事業名	内容	対象者の範囲と人数等の実績
講座企画運営事業	22 ジャンル 52 回の講座を実施。新型コロナウイルスの影響で 3 回分未実施。	各講座によって対象者は異なるが 参加者は 延べ 2,053 人 ※（目標値）新規利用者 454 人 満足度 96.6%
相談事業	①女性のための総合相談 ②女性のための就職・転職・キャリア相談 ③性的少数者の電話相談	①女性 1,828 人 ②女性 45 人 ③当事者及び支援者 15 人
情報収集・発信事業	①図書コーナー運営 ②HP ③情報誌発行 ほか	①一般 延べ 4,490 人（貸出） ※（目標値）貸出冊数 11,259 点 ②一般 延べ 49,755 人 ③一般 延べ約 10,000 人
Jo-Shizu 人材活用事業	メンターバンク新規登録、メンタリング、メンターフェスタ、女性カレッジ修了生交流会、他機関への紹介	女性 延べ 144 人 男性 9 人
団体活動支援事業	①男女共同参画団体の活動支援 ②当事者グループ支援 ③活動発表会 ほか	①男女共同参画団体 59 団体 ②当事者団体 1 団体 ③認定団体 47 団体 / 来館 2,297 人
その他事業	①各種アンケート（利用者、自主防災会） ②職場体験・インターンシップ ③視察受け入れ ほか	①利用者 1,110 人 自主防 813 人 ②学生 6 人 ③自治会・議員ほか 4 件 52 人

2. 施設管理運営事業

開館日数	利用件(区分)数	利用者数	利用率
333 日	7,684 件	85,132 人	51.3%

3. 組織運営

事業名	回数	参加延べ人数
外部研修	21 回	32 人
内部研修（スーパービジョンは除く）	4 回	56 人

(成果)

- ・講座企画運営事業の協定の目標値である満足度 94%以上、新規利用者 400 人以上を達成した。図書貸出業務の協定の目標値である貸出冊数 12,000 冊には達しなかったが、新システム移行のために休室日が多かったことを考慮すると、来年度の目標達成の見通しが立った。
- ・女性への暴力防止運動では、ダンスフェスに多くの高校生が参加して暴力防止を呼び掛けたり、オリジナルの啓発グッズを制作して、メディアにも取り上げられたり、理解を広めることができた。
- ・女性のための相談件数は増加傾向にあり、児童相談所や社会福祉協議会と連携ができるようになった。
- ・月 1 回の定期開催となった「にじいろ相談」は、少しずつ認知されてきた。
- ・これまでの女性カレッジ修了生が様々な事業に協力してくれており、女性会館の応援団になっている。
- ・視察や他機関からの相談が増え、地域内外から信頼された施設となりつつある。

(課題)

- ・年度前半は集客が難しく、その原因について十分な分析ができていない。
- ・災害時の指定管理者としての対応について市からの方針が示され、マニュアルも整備したが、所管課以外の他部署との協議が残っている。

II. 講座・研修事業（指定管理事業以外）

1. 自主事業

事業名	回数	実施日	内容
団体設立 15 周年記念事業	1 回	—	公開講演会、茶話会とも理事会で内容を詰めたが、決定に至らず、次年度に持ち越し。

2. 受託事業

「女子きらっ☆メンターカフェ」（静岡市男女参画・多文化共生課）

回	日時	タイトル	場所	参加人数
1	9/26 19:00~20:30	もうひとつの居場所をもつ働き方 副業・兼業・パラレルワーク	長八珈琲店	12 人
2	11/29 ※① 10:00~11:30	復職前にしておく 5 つのステップ 育休復帰	宇田川ベースカフェ	9 人
3	10/29 13:30~15:00	転機をプラスに変えるコツ 転勤・転入	ルルエミネット	7 人
4	12/19 11:00~12:30	地方公務員のシゴト 魅力とやりがい リアルボイス	イートインカフェ Maiar (マイアー)	11 人
5	1/21 10:00~11:30	地元で育つ 地元で育てる 子育てママのはたらく・暮らす	ダイニングカフェ パオパブ	15 人
6	1/29 19:00~20:30	停滞感を乗り越えて成長する 働く女性のライフキャリア	Flowery CAFÉ cachette	18 人

※① 2 回目は、10/25 の開催日に大雨が予想されたため、参加者の安全面を考慮して開催を延期したため、参加者が減ってしまった。

掛川市受託事業（掛川市男女共同参画課）

回	日時	タイトル	講師	参加人数
1	2/19 (水) 14:00~16:00	多様性を可能性に広げる 「ダイバーシティマネジメント」	株お仏壇のやまき 浅野秀浩 株ソミック石川 石川雅洋	55 人
2	2/29 ※② 13:30~16:00	仕事×ライフ×お金 未来のワタシを考える キャリアデザイン	萩原美栄子	※申込 24 人

※② 2 月 29 日に開催の回はコロナウィルス感染拡大の影響で中止となった。

3. 共催・協力事業

事業名	実施日	内容・講師等	共催・協力団体	参加人数
社会に挑む 5 つの原則、 組織を育てる 12 のチカラ	5/26 10:00~6:30	IIHOE 川北秀人さん	IIHOE 株CoAct	20 人

市長・女性市議と語る会	—	共催が実現せず、新春講演会（講師 上野千鶴子さん）への協力に変更	しずおか女性の会	—
「沈没家族」 in 静岡！	11/9 13:00 17:00	～	沈没家族 in 静岡実行委員会	120人
		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 映画『沈没家族』の上映 ➤ 加納土監督ミニ講演 「沈没家族と八丈島で育って」 ➤ 山田久美子さんミニ講演 「静岡のウーマンリブと静大生の子どもを共同保育した魔女館」 ➤ トークセッション ・山田久美子さん×阿久沢悦子 ・川崎誠之さん×田中志保 ・加納監督×白井千晶 		

(成果)

- ・掛川市から事業を受託することができ、1回目は掛川市が職員研修を兼ねたことから定員を超える55人の参加者があった。中止になった2回目も定員を超える申し込みがあった。企画内容だけでなく、担当職員、外部講師との協力体制が有効なことがわかった。
- ・静岡大学の白井千晶教授からドキュメンタリー映画「沈没家族」の上映とトークセッションに協力要請があり、広報、運営に協力した。会場として借りたサールナートホールには100人を超える参加があった。実行委員会のメンバー等と接点ができ、今後の事業の広がりが期待できる。

(課題)

- ・予定していた団体設立15周年記念事業について、公開講演会、茶話会の実施を計画していたが、予算や担当者があいまいなままだったため、内容が決まらなかった。次年度に持ち越しとしたが、年度末の新型コロナウイルス感染拡大によって内容そのものも検討し直すことになった。
- ・静岡市の受託事業は大雨で延期し、掛川市の受託事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。自然災害は増えており、新型コロナウイルスの収束も予測がつかないことから、複数のパターンの対応策を考えておく必要が生じている。

Ⅲ. 情報収集・発信・交流事業

1. 情報収集・発信事業

事業名	実施日	内容	担当
ジェンダーチェック コンサルタント事業	未実施	行政や企業等の刊行物におけるジェンダーチェックが可能な団体として認識されるよう周知を図り、要請があれば対応するとしていたが、担当者も詳細な内容も詰められず、実施できなかった。	—
生きづらさを抱える 女性のための 支援検討ヒアリング	8/1 9/12 2/10	支援を必要とする女性のニーズと課題をヒアリング。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「NPO 法人フードバンクふじのくに」のスタッフ木下さん、「NPO 法人 POPOLO」理事長の望月健次さんと意見交換。 ・ 9月と2月のフードバンクの食品仕分けにボランティアとして参加。 終了後、「NPO 法人 POPOLO」の鈴木和樹さんと意見交換。	川村 高野 松下

	9/15～16	「一般社団法人静岡学習支援ネットワーク」の御殿場合宿に参加。学生から支援する中高生の実態をヒアリング。 (研修参加大学生 29 人、OB・OG5 人)	松下
	10/16、30 11/6、27 1/29	「NPO 法人しずおか共育ッ」が静岡県立中央高校で月 2 回水曜日に開催している「きやりこみゆカフェ」にボランティアとして参加。生きづらさを抱える女子高校生にヒアリング。	松下

2. 交流事業

事業名	実施日	内容	出席者
全国女性会館協議会 全国大会（浜松市）	11/30～12/1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演 三浦まりさん（政治学者、上智大学教授） ・ パネルディスカッション ・ 情報交換会 ・ 分科会 	谷口 松下 他職員 2 人

(成果)

- ・ 困難を抱えた女性を支援する事業を企画するために市内の活動団体にニーズを聞き取り、情報交換する中で「NPO 法人フードバンクふじのくに」と連携確約書を締結することができた。今後、女性会館相談室の相談者や学習支援を受ける子どもの家庭から要望があれば、食糧支援が可能となる。互いの団体の強みを活かして役割分担し、さまざまな課題を抱えた女性への支援をよりいっそう充実させたい。

(課題)

- ・ ジェンダーチェックコンサルタント事業は、川村理事、松下理事が公的な委員会で問題点を指摘するなど個別には対応したが、具体的な事業として行うことができなかった。担当者を決め、目的や対象によって提供できるメニューを明確にする必要がある。
- ・ 生きづらさを抱える女性のための支援事業は、情報収集のヒアリングはできたものの、具体的な事業提案には至らなかった。次年度は、当団体ができることのボリュームを考え、取り組むべき重要事項の優先順位をつけたい。

IV. 相談・サポート事業

対象	実施日	内容	担当者
一社 静岡学習支援ネットワーク	随時	会員（大学生）のガイダンスに出向き、支援情報の提供。困難を抱えた中高生への相談対応に関する助言の他、当団体が食工房を借りて、宿題カフェのイベント（11/1）にも協力した。 ※登録大学生 81 人、受援者（小・中・高校生） 62 人	松下
地域デザインカレッジ 修了生	随時	修了生の相談に随時対応。また、有志による事業のブラッシュアップ研修をサポートした。 ※研修の講師は川北秀人さん、佐藤真琴さん。参加者 19 人。	松下
静岡高校 学生	11/14 11/18 3/6	「ジェンダー平等アンケート」作成に関する相談と作成したアンケート案へのアドバイスを高校生 2 人に行った。後日、アンケート結果の報告があった。	松下

(成果)

- ・ 相談・サポート事業を通じて、現在の中高生の抱える困難や大学生の現状、シングルマザーの現状など生の声を聞き取ることができている。

(課題)

- ・ 聞き取った内容を事業に反映させることができていない。

V. その他

業務に差し支えない範囲で、会員が団体を代表して依頼を受けた事業は以下のとおり。

月日	事業名	依頼元	担当
6/22	2019年度 市民公益活動事業費補助金 公開プレゼンテーション審査会	焼津市	川村
6/6	全学共通科目「男女共同参画社会とジェンダー」 第10回「マスメディアとジェンダー」	静岡県立大学	川村
6/13	全学共通科目 男女共同参画社会とジェンダー 第9回「市民活動とジェンダー」	静岡県立大学	松下
6/26	社員研修	Jオイルミルズ	居城
8/30	男女共同参画推進フォーラム NWEC 提供ワークショップ 男女共同参画の視点に立った地域づくりについて考える	国立女性教育会館	松下
11/7	男女共同参画職員研修	焼津市	川村
10/25	男女平等推進担当職員研修（応用編）	東京ウィメンズプラザ	松下
11/30	南海トラフ地震 地域「防災・減災」シンポジウム	気象庁、内閣府他	谷口
12/15	高校生向けキャリア支援事業成果報告会	静岡市商業労政課	川村
1/16～17	学習オーガナイザー養成研修	国立女性教育会館	松下
1/17	ダイバーシティ in 静岡 HeForShe 宣言式	静岡市	谷口
1/27	全学教育科目（共通科目）NPO・ボランティア論 「男女共同参画とNPO活動」	静岡大学	松下
2/6～7	あすばる 男女共同参画担当職員研修	福岡県男女共同参画センター	松下

VI. 組織部門

1. 会員

2019年度の正会員は19人、賛助会員は10人。

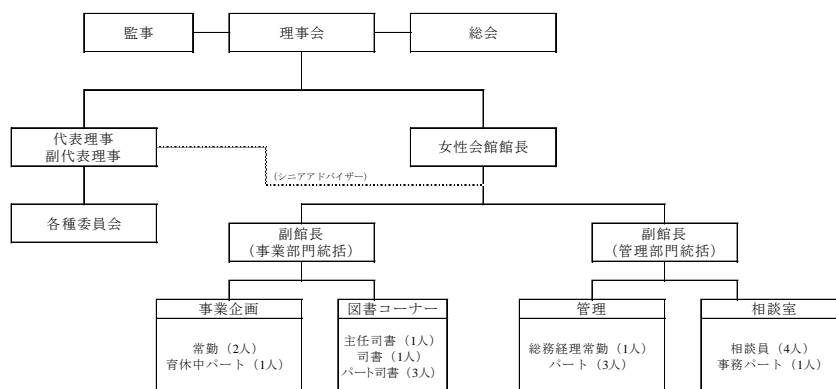
2. 役員及び職員

1) 役員（任期：2018年6月1日～2020年5月31日）

役職	氏名（五十音順）
代表理事	松下 光恵
副代表理事	川村 美智
理事	居城 舜子、井藤 喜美江、犬塚 協太、高野 康代、谷口 年江、鍋倉 伸子、萩原 美栄子
監事	川村 栄司、桜井 俊秀

2) 職員

事業企画部門は、職員が時短で育休復帰した他、7月に職員の退職があったため、昨年度採用したパート職員を常勤とした。相談室と図書コーナーにも新たにパート職員を採用した。



3. 総会

開催日時	名称	正会員数	出席者数	委任状	その他参加
6/1 10:00~12:00	第15期通常総会	23人	14人	6人	1人

4. 理事会

回	開催日	主な審議事項	参加理事数	参加監事数
第1回	11/26	①来年度の事業計画（案）について ②女性会館職員の人員体制、賃金検討委員会について ③今後の理事会の持ち方について ④その他	9人	1人
第2回	12/26	①15周年記念事業について ②今後の理事会の持ち方、役員改選について ③その他	9人	1人
第3回	1/20	①NPOのミッション、長期的展望について ※自由に意見交換 ②今後の理事会の持ち方について ③その他	9人	2人
第4回	3/24	①NPOのミッション、長期的展望について ②その他	9人	2人

(成果)

- 年度前半にはほとんど理事会を開くことができなかつたことから、理事会の持ち方について検討し、奇数月に定期的に理事会を行うことになった。第3回理事会では自由に意見交換する時間を設け、第4回理事会では全役員が参加して団体を紹介するためのキャッチコピー作成のWSを行うことができた。
- 2019年度から谷口理事が全国女性会館協議会の常任理事となり、全国の女性関連施設の取り組みをいち早く知ることができるようになった。得た情報を今後さまざまな事業に活かしたい。

(課題)

- 正会員、賛助会員を増やすための課題の整理には取り組めなかつた。来年度の理事会で検討する時間を確保する。
- 設立当時を知らない職員も増えたことから、団体のミッションやビジョンは役員だけで決めるのではなく、職員にも考え、話し合ってもらふ必要がある。
- 理事会とは別に居城理事を中心に4回の賃金検討委員会を行い、3回目からは井藤理事、萩原理事も加わった。これまでの賃金体系（年功給）を職務給に変更するために職務評価方法が検討されたが、本格的な職務給に変更するにはさらに時間が必要である。また、現在の年功給も低位な水準であることが大きな課題であり、内外の指定管理者制度の動向を見極めながら他の指定管理者間との横の連携が必要である。